

笑顔と共に

Hを妊娠中、前置胎盤と判明し個人病院から総合病院へ転院となりました。出産一ヶ月前に出血があり、緊急入院し絶対安静となりました。張り止めの点滴は最大量までいき外す事はできませんでした。でもなんとか37週までお腹のなかに入れて無事出産する事ができました。出産後張り止めの影響で低血糖になりましたが、その後は母乳を飲み元気で安心しました。いざ退院の時、黄疸が出てしまいHだけ一週間長く入院しました。

その後も鼠径ヘルニアや臍ヘルニア、誤嚥性肺炎など病院へお世話になる事が多くありました。そして順調だった成長も首すわりまで、一人で座る事ができませんでした。こども病院で検査してもらいましたが特に異常はありませんでした。それからこども病院や福祉センター令和でリハビリをし、三歳を前にやっと独歩ができるようになりました。でも三歳を過ぎても話すことができず、やはり何かの障害があるのではないかなという思いが消えず、こども病院で遺伝子検査してもらいました。なかなか結果は出ず三回目の検査でやっとアンジェルマン症候群とわかりました。思ってもいない診断に愕然としましたが、独歩が遅い事、睡眠障害や言語障害、容易に笑う事など、どれもHに当てはまる事はわかりました。それからは見えない未来に不安になり、考えても仕方ない事に悩み毎日泣いてばかりいました。でも日々はやって来て、ちょうど入園したばかりのいこいの家へ何とか通っていました。朝、先生がHちゃんは笑顔が素敵だね」と褒めてくれたのに、アンジェルマン症候群だから

と心の中で思ってしまう自分も嫌になりました。そんな時年少の先生から「Hちゃんは生きる力が強いね、年長さんになったらオムツ取れるかもー」と言って下さりました。マイナスな事ばかりしか考えられない時に、久しぶりに嬉し涙が溢れました。そうして私も前を向いて笑える様になっていきました。

Hも年少前から通っていたトミーズさんでの集団生活のおかげで、いこいさんの年少生活もスムーズに慣れていきました。年中になりクラスが変わり大丈夫だろうかと思う私の心配とは逆に、あっという間に慣れていきました。Hは親が思う以上に逞しいなと思いました。そして年長、クラスのメンバーは変わりましたが、変わらず毎日楽しく過ごしています。

来年は小学生です。進路を決める時はいつも悩み迷います。ですがHが楽しく元気に過ごせる様に、将来一つでも出来る事が増え困らない様に、Hが笑顔でいれる様に、親子で一步一步進んで行きたいと思えます。ゆっくりゆっくりな成長のHですが、いつか「ママー」と呼んでくれるのを楽しみに待っています。

今までお世話になった方々へ感謝しつつ、残りのいこいの家での生活も宜しく願います。

Hくん(五歳)のお母さん